



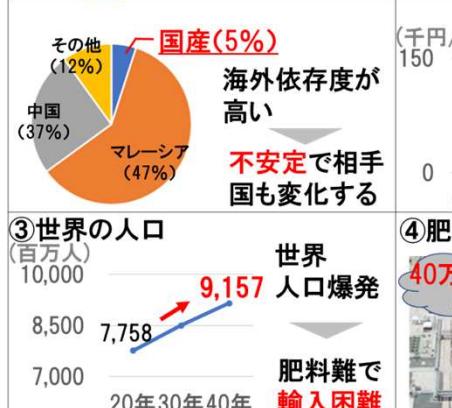
エシカル農業～再エネは農業を救う～

チーム名：サステナブル資源有効活用

メンバー：高田 政雄、角田 彦弥、奈良 祐一、松下 和宏、山本 泰希

アドバイザリー講師：今村 昌根、西田 美紀、福澤 和久

現状の把握



農用肥料の問題



提案実現のための具体的な取組 (アクションプラン)と実現可能性

工程 (製造)	新規技術(研究開発)		既存技術	
	ターゲットコストUSD110/t	18億kWh/年	2.6万t/年	CO ₂ 削減15万t-CO ₂ /年
工程 (製造)	再生可能エネルギー $2H_2O \rightarrow 2H_2 + O_2$ 電気分解	水素(H ₂)	アンモニア(NH ₃) $N_2 + 3H_2 \rightarrow 2NH_3$	尿素 肥料
場所	田原市・分散地	名古屋市	全国	国産窒素肥料 12万t/年
ステーク ホルダー	研究機関(大学等) 発電事業者	石油化学業者	肥料製造事業者 運搬業者 ガス事業者	肥料利用者
プラット ホーム	国内肥料資源の利用拡大に向けた 全国推進協議会			

2024年
全国推進協議会
～協力要請

2030年
実証地
(田原市)

2040年
国産窒素肥料
全国供給

2026年
ステーク
ホルダー選定

2038年
分散地へ
展開

国・目標
(GX関連
投資)

制度構想

革新型電池実用化
H₂, NH₃供給拡大・安定供給

H₂燃料賦課金導入
(2028年度～)

排出量取引制度本稼働
(2026年度～)

特定事業者負担金導入
(2033年度～)

20年後に向かう提言の概要



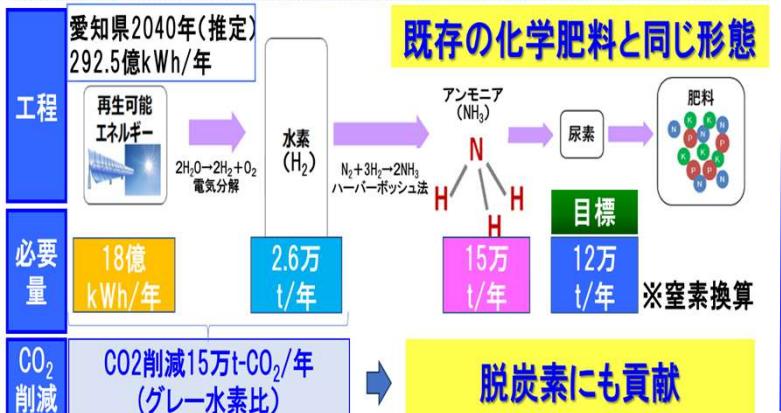
国産サステナブル肥料で
エシカルな農業に！

国産サステナブル肥料

愛知から全国へ
お届け！

出)JAあいち経済連HP
<https://www.ja-aichi.or.jp/main/agriculture/index.html>

提案の内容



波及効果

